

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【公表番号】特表2006-528700(P2006-528700A)

【公表日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2006-050

【出願番号】特願2006-533314(P2006-533314)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/06 (2006.01)

A 6 1 K 31/138 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 K 9/48 (2006.01)

A 6 1 K 9/72 (2006.01)

A 6 1 K 47/20 (2006.01)

A 6 1 K 47/02 (2006.01)

A 6 1 K 47/04 (2006.01)

A 6 1 K 47/30 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 K 9/16 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/06

A 6 1 K 31/138

A 6 1 P 3/04

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 9/72

A 6 1 K 47/20

A 6 1 K 47/02

A 6 1 K 47/04

A 6 1 K 47/30

A 6 1 K 9/127

A 6 1 K 9/16

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/14

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月21日(2007.5.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つのカテコールブタンと、薬学的に許容可能な担体又は賦形剤とを含む、そのような治療を必要とする対象体の肥満を治療する薬用組成物。

【請求項2】

前記組成物が、鼻腔内投与用に製剤されている請求項1に記載の薬用組成物。

【請求項 3】

前記組成物が、経口投与用に製剤されている請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 4】

前記組成物が、遅効性及び速効性カプセル剤から成るグループから選択される 1 つとして製剤されている請求項 3 に記載の薬用組成物。

【請求項 5】

前記組成物が、吸入用に製剤されている請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 6】

前記組成物が、皮下投与用に製剤されている請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 7】

前記組成物が、経皮投与用に製剤されている請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 8】

前記組成物が、脂肪内投与用に製剤されている請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 9】

前記組成物が、局所投与用に製剤されている請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 10】

前記組成物が、静脈内投与用に製剤されている請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 11】

前記組成物が、口腔投与用に製剤されている請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 12】

前記組成物が、腹腔内投与用に製剤されている請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 13】

前記組成物が、筋肉内投与用に製剤されている請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 14】

前記組成物が、移植用に製剤されている請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 15】

前記組成物が、中心静脈投与用に製剤されている請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 16】

前記薬学的に許容可能な担体又は賦形剤が、ジメチルスルホキシド (DMSO) を含む請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 17】

前記薬学的に許容可能な担体又は賦形剤が、リン酸緩衝生理食塩水を含む請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 18】

前記薬学的に許容可能な担体又は賦形剤が、生理食塩水を含む請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 19】

前記薬学的に許容可能な担体又は賦形剤が、脂質系製剤を含む請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 20】

前記薬学的に許容可能な担体又は賦形剤が、リポソーム製剤を含む請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 21】

前記薬学的に許容可能な担体又は賦形剤が、ナノ粒子製剤を含む請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 22】

前記薬学的に許容可能な担体又は賦形剤が、ミセル製剤を含む請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 23】

前記薬学的に許容可能な担体又は賦形剤が、水溶性製剤を含む請求項 1 に記載の薬用組

成物。

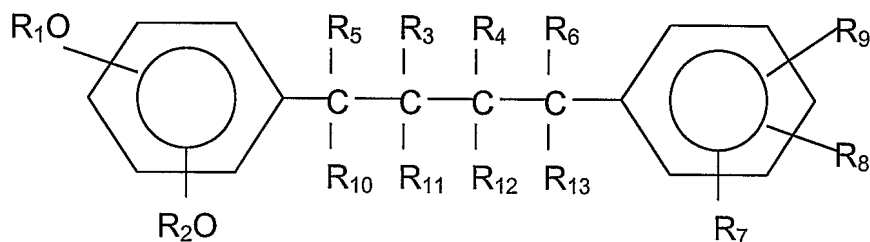
【請求項 24】

前記薬学的に許容可能な担体又は賦形剤が、生物分解性重合体を含む請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 25】

前記カテコールブタンが、以下の式を有し、

【化 1】



R_1 及び R_2 が、独立的に、 $-H$ 、低級アルキル、低級アシル、アルキレン又はアミノ酸残基又はその置換物又は塩であり、

R_3 、 R_4 、 R_5 、 R_6 、 R_{10} 、 R_{11} 、 R_{12} 及び R_{13} が、独立的に、 $-H$ 又は低級アルキルであり、そして、

R_7 、 R_8 及び R_9 が、独立的に、 $-H$ 、 $-OH$ 、低級アルコキシ、低級アシルオキシ、又は任意の隣接する二つの基が共にジオキシアルキエンとすることができ、又はアミノ酸残基又はその置換物又は塩である、請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 26】

R_1 及び R_2 が、独立的に、 $-H$ 、低級アルキル、低級アシル、又はアミノ酸残基又はその置換物又は塩であり、

R_3 、 R_4 が、独立的に、低級アルキルであり、

R_5 、 R_6 、 R_{10} 、 R_{11} 、 R_{12} 及び R_{13} が、独立的に、 $-H$ であり、そして

R_7 、 R_8 及び R_9 が、独立的に、 $-H$ 、 $-OH$ 、低級アルコキシ、低級アシルオキシ、又はアミノ酸残基又はその置換物又は塩である、請求項 25 に記載の薬用組成物。

【請求項 27】

R_1 及び R_2 が、独立的に、 $-H$ 、低級アルキル、低級アシル、又はアミノ酸残基又はその置換物又は塩であり、

R_3 、 R_4 が、独立的に、低級アルキルであり、

R_5 、 R_6 、 R_7 、 R_{10} 、 R_{11} 、 R_{12} 及び R_{13} が、独立的に、 $-H$ であり、そして、

R_8 及び R_9 が、独立的に、 $-OH$ 、低級アルコキシ、低級アシルオキシ、又はアミノ酸残基又はその置換物又は塩である、請求項 26 に記載の薬用組成物。

【請求項 28】

R_1 及び R_2 が、独立的に、 $-CH_3$ 又は $-(C=O)CH_2N(CH_3)_2$ 又はその塩である請求項 27 に記載の薬用組成物。

【請求項 29】

R_8 及び R_9 が、独立的に、 $-OCH_3$ 又は $-(C=O)CH_2N(CH_3)_2$ 又はその塩である請求項 27 に記載の薬用組成物。

【請求項 30】

R_1 及び R_2 が、独立的に、 $-CH_3$ 、 $-(C=O)CH_2N(CH_3)_2$ 又は $-(C=O)CH_2N^+H(CH_3)_2 \cdot Cl^-$ であり、そして、 R_8 及び R_9 が、独立的に、 $-OCH_3$ 、 $-O(C=O)CH_2N(CH_3)_2$ 又は、 $-O(C=O)CH_2N^+H(CH_3)_2 \cdot Cl^-$ である請求項 27 に記載の薬用組成物。

【請求項 31】

前記カテコールボタンが、NDGAではないことを条件として、 R_1 及び R_2 が、独立的に、 $-H$ 又は $-CH_3$ であり、そして、 R_8 及び R_9 が、独立的に、 $-OH$ 又は $-OCH_3$ である請求項 27 に記載の薬用組成物。

【請求項 32】

R_1 及び R_2 が、独立的に、 $-CH_3$ であり、そして、 R_8 及び R_9 が、独立的に、 $-OCH_3$ である請求項 27 に記載の薬用組成物。

【請求項 33】

前記カテコールボタンが、NDGAである請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 34】

前記カテコールボタンが、NDGA以外である請求項 1 に記載の薬用組成物。

【請求項 35】

請求項 1 に記載の薬用組成物を製造する方法であって、以下の工程、

(a) 請求項 25 ~ 34 のいずれか一項に記載の少なくとも 1 つのカテコールボタンを提供する工程、

(b) 請求項 16 ~ 24 のいずれか一項に記載の少なくとも 1 つの薬学的許容可能な担体又は賦形剤を提供する工程、

(c) 前記カテコールボタンと前記薬学的許容可能な担体又は賦形剤とを組み合わせる工程、を含む薬用組成物を製造する方法。

【請求項 36】

請求項 1 に記載の薬用組成物と前記組成物の投与説明書とを含む肥満治療用キット。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

前記対象の更にもう一つに抛れば、上述した治療方法であって、前記二つのカテコールボタンは、テトラ - O - メチルNDGA、トリ - O - メチルNDGA及び、テトラ - グリシニルNDGA、テトラ - ジメチルグリシニルNDGA から成るグループから選択される。